

第8回 ISA ミーティングが日立市で開催される

2年に一度開催されるISAミーティングも今年で8回目となり、これまでは豪州、欧州、南北米での開催でしたが、3月30、31日の両日、アジアでは初めて日本にて開催されました。

このISAミーティングは、銅製錬の分野では最も進んだ技術の一つと言われるISAプロセスを導入した全世界の企業が、一堂に会して改善成果などを発表する国際会議です。ISAプロセスは、1979年にオーストラリアのCRL社（現Xstrata社）が開発した種板の代わりにステンレスの母板を使用する銅電解プロセスで、世界で50以上の製錬所に採用されています。

MESCOはこのISAプロセスのアジア地区代理店であり、全世界における同プロセス向け自動剥取機のメーカーです。

参加者は世界各国から80名を超え、13社の代表が各種の発表を行いました。**MESCO**も新たに開発したワークスレス自動剥取機に関する発表を技術本部 福田担当部長が行い、高い評価を受けました。

開催地が日立市であったことから、初日の午後には日鉱金属 日立工場殿の工場見学があり、2日目は同社工場長の公邸でガーデンパーティーが開かれ、ミーティングを終了することが出来ました。



発表中の福田担当部長



Engineering Quarterly

平成16年 5月18日 発行 Vol.33

発行責任者 国内営業部 正道 勝昭(masamichi@mesco.co.jp)

発行担当者 国内営業部 正木 孝信(masaki@mesco.co.jp)

明日を担う技術の **MESCO**

URL:<http://www.mesco.co.jp>

三井金属エンジニアリング株式会社

本店 〒130-8531 東京都墨田区両国 2-10-5 Tel 03(3633)1156 Fax03(3633)8977(国内営業部)

C E C 〒362-0021 埼玉県上尾市原市 1352-1 Tel 048(770)1111(代表)Fax048(770)1131

東京支店 〒273-0017 千葉県船橋市西浦 3-9-1 Tel 047(432)0131(代表)Fax047(432)0127

東北支店 〒039-1161 青森県八戸市大字河原木字浜名谷地 76 Tel 0178(28)2041(代表)Fax0178(28)5251

MESCO

Engineering 2004年5月

Quarterly Vol 33

日鉱金属株式会社 佐賀製錬所殿向

銅アノード製造機を受注

国内営業部

MESCOはこの度、株式会社日鉱ポリテック殿より、1時間当りの生産量が世界最大の銅アノード製造機を受注致しました。

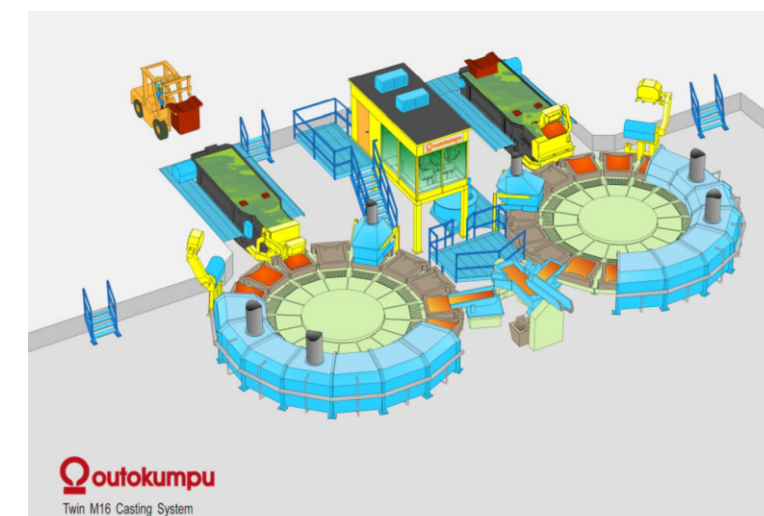
MESCOが受注した銅アノード製造機は、かねてより当社と多岐にわたり技術提携をしているフィンランド Outokumpu Technology との連携によるものです。

銅アノード製造機に関する**MESCO**と Outokumpu Technology は、豊富な製錬技術をベースとした最適なプロセスを提供し、国内はもとより世界各国から高い評価を得ております。

MESCOが受注した銅アノード製造機は従来システムを更に改造し、 casting 回転テーブルが2個からなる、ツインホイールシステムであります。

多様化する客先のニーズに応えるべく、最新のコンピュータシステムを導入した高性能、高精度を保証する、まさに最新鋭の製造機であります。

MESCOは、非鉄金属製錬で培ったこれらの技術を更に高め、新しい視点に立ち、各種自動化を始め多様なニーズに挑戦していきます。

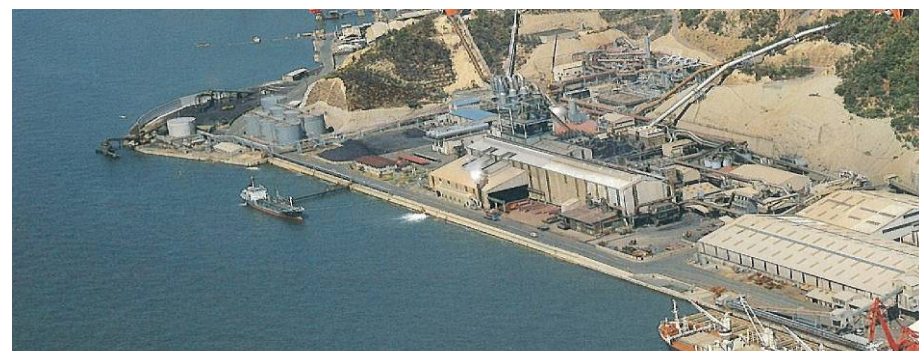


銅アノード製造機

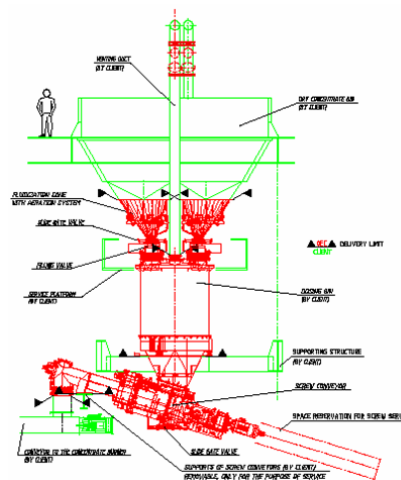
国内営業部

日比共同製錬株式会社 玉野製錬所殿 精鉱ウェイトフィダー 受注

MESCOはこの度、日比共同製錬株式会社 玉野製錬所殿より精鉱ウェイトフィダーを受注致しました。この設備は、当社と永年技術提携をしているフィンランドの Outokumpu Technology の技術によるもので国内の非鉄製錬会社としては初のケースとなりました。精鉱ウェイトフィダーシステムは選鉱された鉱石を貯蔵ビンに貯め、平行する2基の秤量ビンに装入されます。秤量ビンにはロードセル装置が付いており、自動的に重量が測定されます。秤量ビンの鉱石は交互に定量排出され、精鉱バーナーに送られます。完成後は自熔炉の安定操作が可能となるため、その期待は大きく完成が待たれているところであります。



玉野製錬所



精鉱ウェイトフィダー

素材部品営業部

稲城市立病院 放射線防護工事

MESCO素材部品営業部はこの程、鹿島建設株式会社殿から稲城市立病院救急外来施設増築工事の放射線防護工事（鉛ボード、鉛シート貼り及び鉛入鋼製建具取付工事）を受注致しました。今回の工事は、RI室で鉛厚2.0,4.0,6.0mmの鉛ボード及び鉛シート貼り400㎡、鉛入（2.0,4.0mm）鋼製扉8台及び鉛硝子（鉛当量4.0mm）4枚の取付等です。今後、**MESCO**素材部品営業部は、病院物件（×線室、RI室）のさらなるシェア拡大に取り組んでいきます。



放射線防護工事

受注先 鹿島建設株式会社
施工場所 東京都稲城市
施工期間 平成16年1月～平成16年3月

MESCOは、多様なニーズに積極的に挑戦しております。

国内営業部

株式会社テクサス殿 カウンターシャフト 分解・圧入用プレス機 完成

MESCOはこの度、株式会社テクサス殿より、株式会社日弘殿向けカウンターシャフト分解・圧入用プレス機を受注し、完工致しました。

テクサス殿は、日産ディーゼルの保全部門が分離独立された会社です。プレス機は、自動車製造での豊かな保全技術と実績経験のテクサス殿と**MESCO**のFA技術がドッキングしたものです。

MESCOは今後、自動車分野においても幅広く挑戦していきます。



カウンターシャフト分解・圧入用プレス機

パイプ事業部

MESCOは農水用高密度ポリエチレン管で農業を応援します。

パイプラインは水配分など水管理がしやすく、無効放流がないので水が有効に使えます。土地も有効利用できます。造成後の維持管理コストの低減・水循環システムへの適応・漏水節水対策等にも最適です。

高密度ポリエチレン管の耐震性は実績でも証明されており、加えて可とう性・耐摩耗性・対候性・耐薬性に優れるため経年変化も少なく、農業用水配管材として最も期待される管材です。

ご紹介案件は、地形に無理なく合わせて配管しています。バット融着・EF融着接続したパイプは橋梁部、開削溝へ引き込み、可とう管、スラストアンカーブロックを使用せず仮設工事等を最小化し総コストを削減しております。また、掘削残土の排出抑制を実現し環境対策にも貢献できました。

品種:WE 呼び径:W500
長さ:574m



水管橋添架部



水管橋上流取付バンド部